

令和4年度 学校経営方針

中央区立佃島小学校
校長 永木 一郎

1 学校教育目標

- ◎ 健康で 明るい子ども
- ◎ 礼儀正しく 思いやりのある子ども
- ◎ よく考え すすんでものごとに取り組む子ども

2 学校経営の基本方針と重点目標

○ 子どもたちの「学力向上」に努める学校

- ・子どもにとって魅力のある授業や達成感・充実感のある授業の実施。
- ・指導法の工夫による「学ぶ意欲の高揚」と「学習習慣の確立」。

○ 子どもたちの「人間性・社会性」を育む学校

- ・基本的な生活習慣と規範意識の定着。
- ・互いの違いを認め、尊重し合い、学び合う集団づくり。

○ 子どもたちの「心と体の健康づくり」を進める学校

- ・あいさつ、返事、言葉遣い、関わる力の定着による思いやりの心の育成。
- ・運動の必要性を理解するとともに楽しさを味わい、進んで運動する習慣の確立。

3 学校経営の基本方針を達成するために（教育活動の具体的な取組）

①安定した学級経営と学年経営の充実

- ・教員の丁寧な指導と誠実な対応が基本となる。一人一人の児童を十分に理解し、大切にしながら、児童の意欲や可能性を最大限に伸ばす学級経営をめざす。
- ・学年主任が中心となり、「学年はひとつ」の方針のもとに、一貫した指導による学年経営の充実に努める。
- ・服務事故の防止を徹底する。学校全体で不適切な指導を絶対に許さないという風土を醸成する。

②日常授業の充実による学力向上への取組

- ・教材研究、授業準備、指導方法の改善、学習形態や課題提示の工夫、教材・資料準備、ICTの活用など、日常授業の充実による学力向上を図る。
- ・[個別指導] 算数習熟度別指導をはじめとして、多くの教科において実施する。
算数少人数指導講師、体育指導補助員、理科支援員、学習指導補助員、学校図書館指導員、時間講師、ALT等との連携により複数指導体制の充実を図る。
- ・[授業時数の確保] 土曜授業10日間 ・漢字検定への取組（3年生以上の希望者）

③学習規律の重視

- ・一人一人が落ち着いて学習できる環境の整備が教育活動のベースとなる。
- ・「間違えてもいい」という安心感があり、互いに認め合い、高め合う学級づくり。
- ・学習用具の準備、授業の始終のあいさつ、姿勢、言葉遣い、体育の集団行動の指導等。
- ・授業の開始時刻、終了時刻の順守。

④ ICT教育の推進

- ・ ICT機器を活用し、自分の思いを表現し考えを深めていく児童の育成に取り組む。
- ・ 校内研究を通して、ICT機器を活用した教育活動の充実と指導力の向上を図る。
- ・ 児童のネットリテラシーの向上を図る。

⑤外国語、外国語活動の重視

- ・ 5・6年生は外国語として週2時間、4年生以下は外国語活動として週1時間の設定。
- ・ 英語専科の配置 … 5・6年を週2時間、3・4年を週1時間、専科として指導する。

⑥コミュニケーション能力の習得

- ・ 学校生活全体を通して、言語に対する認識や関心を高める。
- ・ 言語環境の整備・話型指導の重視、聞く・話す力の向上、思考力・表現力の育成。
- ・ 小集団活動の活用(3人程度) 意見交換の場、学び合いの場、関わりの場、言語活動充実の場。

⑦体験的な学習や問題解決学習の実施

- ・ 体験的な学習 … 出前授業・地域学習・ゲストティーチャーによる指導等
- ・ 問題解決学習 … 算数、理科、総合的な学習の時間等の自ら学び、考え、自ら主体的にする学習

⑧「特別の教科 道徳」授業の充実

- ・ 児童一人一人が考え、意見を交わし、多様な立場や考えを認め合う力を育てる授業の実践。
- ・ 道徳授業地区公開講座の実施と充実

⑨あいさつ、返事の定着

- ・ 登校時をはじめとするあいさつや返事の励行。(学校で、地域で)
- ・ 教職員の率先垂範により、学校全体で自然にあいさつしようとする風土を醸成する。

⑩生命の大切さ、思いやりの心の育成

- ・ 豊かな人間性の育成に努める。生命や自他を尊重する心、規範意識、正義感等の育成。
- ・ 安心して学べる学習集団づくりと差別やいじめを絶対に許さない指導の徹底。

⑪「心と体の健康づくり」 体力向上への取組と体育学習の充実

- ・ 心身の調和的発達を図り、明るく活力のある生活を送る能力や態度の育成。
- ・ アスリートを招いてのスポーツ交流授業の実施とマイスクールスポーツである持久走の重視。
- ・ 体育指導補助員との連携による体育学習における指導効果の向上と安全面の確保。

⑫教育相談・特別支援教育の充実

- ・ スクールカウンセラー等による教育相談日の実施。
都スクールカウンセラーによる対応：毎週木曜日（5年生の全員面接実施）
区教育相談員による対応：毎週火曜日・金曜日
- ・ 特別支援教室「かもめ教室」での指導 巡回指導教員5名、専門員1名

⑬安全教育の実施と関係諸機関との連携

- ・ 関係諸機関との連携を図り、交通・生活・災害の安全についての指導の充実と事故防止の徹底。
- ・ 児童の安全を確保するため、実情に対応した指導やより実践的な避難訓練等の実施。

⑭異学年活動の実施・他校種との交流

- ・ たてわり班活動により異学年の児童との交流を深め、思いやりのある接し方や温かな言葉かけのできる子の育成。
- ・ 佃中学校や月島幼稚園、近隣の保育園との交流活動の実施。

⑮教育の質の向上を目的とした働き方改革の推進

- ・ 日常業務の見直しや精選によって、授業改善や教材研究に取り組む時間を増加させる。